

いまださら聞けない



いまだから聞きたい

このコーナーでは読者の皆さんのインターネットに関する疑問や質問にお答えします。「？」と感じたことはどのようなことでも構いませんので、下記のメールアドレスまでご質問ください。なお、ご質問へのメールでの回答はできませんのでご了承ください。
ご質問はこちらまで
im-faq@impress.co.jp

Frequently Asked Question

今月のポイント

1 「アフィリエイト」「アドワーズ」「アドセンス」の違いは？

2 「RSS」の意味とその仕組み



アドセンスとアドワーズ、アフィリエイトという言葉が最近よく聞きますが、違いがよくわかりません。教えてください。(岐阜県 川上さん)



最近、インターネットのメディアとしての価値が認められ、それと同時に広告の形や対象などにも広がりが出ています。これまで広告には縁のなかった小規模な企業や個人までがいろいろな形で利益を得られるようになってきました。

「アフィリエイト」は、一般にはアフィリエイトプログラムと呼ばれます。これは、1つの広告の形の総称で、自分のサイトやメールマガジンから企業のウェブサイトへのリンクを張る形式です。自分のサイトからのリンクを通して商品が購入されたり、リンクがクリックされたことによって報酬が支払われます。表示される広告はバナー形式であったり、テキスト形式であったりしますが、広告を配信する企業によって形が変わります。たとえば、バリューコマースなどの代理店やAmazon.co.jpなどが広告を配信しています。

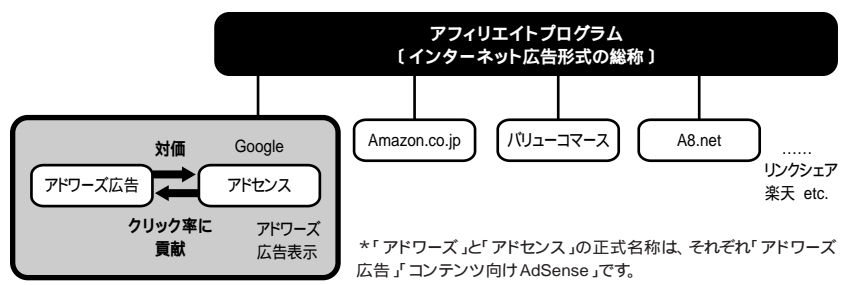
さて、「アドワーズ」と「アドセンス」は、Googleが提供しているインターネット広告

の形態です*。GoogleやGoogleと提携している検索サイトで検索した結果のページに表示されるスポンサー広告をアドワーズ広告といいます。アドワーズ広告は、テキスト形式のキーワード連動型の広告です。広告主によってあらかじめキーワードの設定された広告が、ユーザーが検索したキーワードに連動して表示されるほか、情報サイトなどではそれぞれのページ内容に沿って表示されます。広告主には、実際

にクリックされた数だけが課金されるため、無駄なコストを省くことができます。

一方、サイトオーナー(個人または企業)が自サイトに関連するアドワーズ広告を自分のサイトに表示したものを「アドセンス」といいます。サイトオーナーが設定したページに広告が表示され、ユーザーがそれをクリックすると、広告主からサイトオーナーにその対価が支払われる仕組みになっています。(Google 松谷 学)

「アフィリエイト」「アドワーズ」「アドセンス」の関係



「アフィリエイト」はインターネット広告形式の総称
「アドワーズ」「アドセンス」はキーワード連動型広告



ブログで「RSS」という言葉を聞くのですが、なんのことですか？（神奈川県 斉藤さん）



RSSは、ウェブ上のニュースやブログサイトの「要約」「見出し」を、XMLという記述言語を使って表現する形式です。特に、サイトの最新情報や更新情報を提供する場合に利用されています。

このRSSは、ネットスケープコミュニケーションズ社によって1999年に開発されました。その後同社は、仕様の開発から手を引きましたが、他のベンダーやユーザー団体が仕様の更新を行っています。現在では、次の2つの系列の仕様があります。

(1) RDF(Resource Description Framework という汎用的な表現規格を使い、記述できる情報の拡張性に重点をおいて開発された RSS 1.0(RDF Site Summaryの略)系

(2) サイト情報の提供という機能に特化した、単純化した仕様である RSS 0.9x/2.0系 : RSS 0.9x(Rich Site Summaryの略) RSS 2.0(この仕様では、Really Simple Syndicationの略と定義されている)

ここでは、基本的なサイトの要約や記事の見出しなど、RSSの基本的な記述内容について解説します。RSSの記述内容は簡単です。

RSSは、そのサイト自身(チャンネルと呼ぶ)を示す情報とサイト内の個々の記事(アイテムと呼ぶ)の情報から構成されます。チャンネルの情報としては、見出し、チャンネルへのリンク、そしてチャンネルの概要説明などが含まれます。また、個々のアイテムの情報としても、見出し、アイ

「RSS」はウェブサイトの要約や見出しの記述形式 RSSの利用で多くサイトの更新情報を効率的に把握

テムへのリンク、そしてアイテムの概要説明が含まれています。

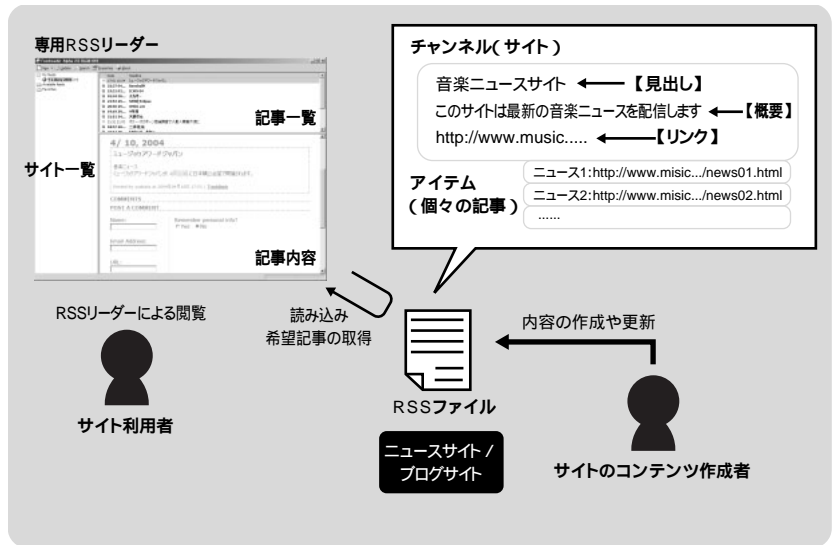
サイトのコンテンツ作成者は、RSSを使ってコンテンツの最新情報を公開しようとする場合、RSSに対するリンクを公開しておいて、最新情報をRSSの形式に従って記述するだけです。また、Movable Typeなどのブログツールや多くのブログ提供サイトなどでは、ブログのエントリー(記事)を新規に作成したり更新したりすると自動的にRSSを作成する機能を提供しているので、初心者でも簡単に最新情報を提供できます。

一方、サイト利用者は、RSSを利用してたくさんのニュースサイトやブログサイトの更新情報を確認する手間が省けます。更新をチェックするためのツールとして、

「RSSリーダー」と呼ばれるツールを利用します。ユーザーは、更新をチェックしたいサイトのRSSへのリンクをRSSリーダーに登録しておくだけで、RSSリーダーが自動的に登録された各サイトを巡回して記事一覧を取得します。また、各記事の一文や概要を閲覧できるので、複数のサイトの多くの記事から興味深いものを簡単に見つけることができます。

なお、多くのRSS対応のサイトには「RSS」「RDF」「XML」というアイコンや、「Syndicate this site」や「このサイトと連携する」という文字のリンクによって、RSSへのリンクが簡単にわかるようになっていきます。フリーのRSSリーダーもあるので、ぜひ、あなたも利用してみたいはいかがでしょうか。(NTTデータ 坂田 祐司)

RSSの仕組み





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp